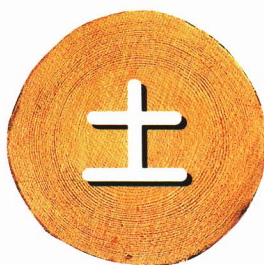


# 豊かな恵みと確かな技術が、 未来への大きな原動力となる。

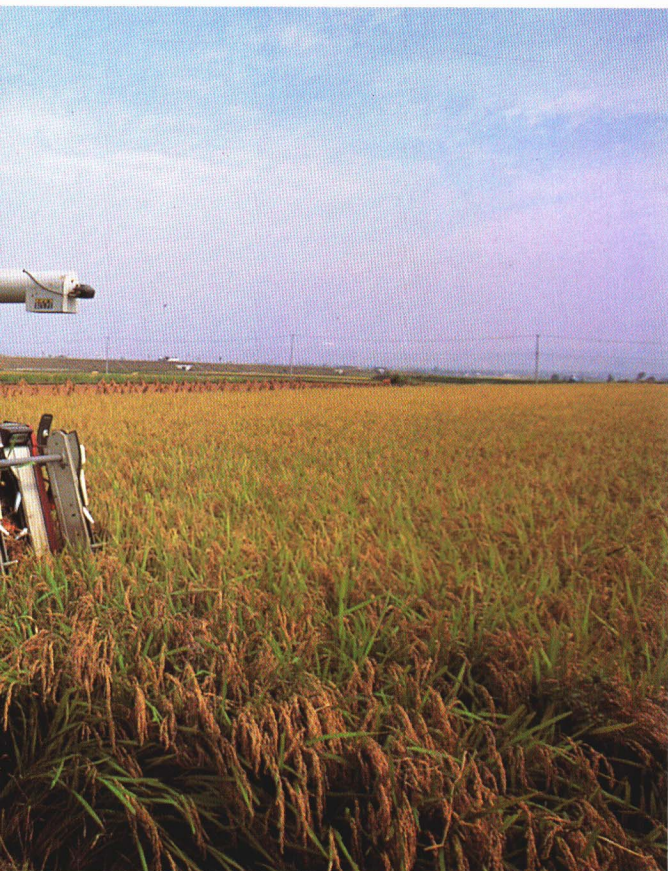


豊かな自然に恵まれた新鶴村の主要産業となるのはやはり農業です。米をはじめ、特産物の薬用人参、菊、生食ぶどう、和なし、加工ぶどう、アスパラガス、加工トマト、インゲン、シイタケ、リンゴなど、山間部から平野部まで、それぞれの特性を生かした農作物が栽培されています。

特に、稲作は古くから盛んで、現在もなお会津地方の米どころとして知られています。しかし、その経営形態は、稲作のみを行う形態から、さまざまな農作物を扱う複合経営へと移行してきています。また、時代の流れとともに、

若い世代の農業離れも進んでいるのが現状です。

そこで村では、働き手の不足している農地を集約し、さらに機械化による農業の大規模経営化を進めております。これにより、農業の生産性が高まり、地域が一体となった農業経営に取り組むことができるようになりました。ここで大きな役割を果たすが、平成9年より稼働のカントリーエレベーターであり、この施設を十分に活用していくための受託組織として9地区に利用組合がつくられ、これからの稲作に向けての新たな展開が始まっています。



稲刈風景



ふるさと観光物産館

村の特産品